

(二〇一二年) 新春に当たっての所感などを語って頂きました

順不同 敬称略

《オペラ鑑賞も楽しい》



芹沢 正子

浜口さんに連れられて、市民会館の小さな部屋を訪問したのは、二〇〇七年三月。例会に出席し、会員の紹介する様々なジャンルを聴くという時間を持つてようになった事だけでも満足。例会の紳士的な雰囲気も悪くない。楽器は人間の声に近いというチェロ、ダンス曲としてのタンゴが好き。

私は、活字からの情報収集能力に比べて耳からのそれが著しく劣るらしい。流行歌などは、三番まで歌詞を誦んじるのに、曲がでて来ない。更に、自分が悪声のためプロアマ問わず甘い声の人に憧れている。オペラ鑑賞会は、その筋書きもさることながら、映像と共に声の良い男女が登場するので、いそいそと参加している。特に、二〇〇八年は、「アイーダ」「さまよえるオランダ人」「ドン・ジョバンニ」それに「奥様になった女中」と、度々楽しい時間を過ごさせて頂いた。

会員以外の地域の多くの人にこのオペラを楽しんで貰いたいなあとも思った。年頭に当り、これまでの役員皆様への感謝の言葉と共に、このクラブの益々の発展を祈願しています。

写真のコメントを一言

忘年会で、酒豪ではありません

《今年はハイドンを！》



島 剛

ここ数年の目標は自分の好きな作曲家の生涯を追いながら作品を聞くことでした。作曲家の候補はバッハ、ハイデン、モーツァルト、ベートーヴェン、マーラーでした。自分なりの理由でベートーヴェンと決めてその生涯と全作品目録の一覧、作曲年代、該当CDをエクセル表で作成しました。それは四十過ぎに二度目の「ベートーヴェンの手紙(岩波文庫)」を読んだ記憶の再現です。当時は現役サラリーマン、本を脇に置きながら主要作品を聞くのに約一年弱、初めてベートーヴェンに接した思いでした。それまで感覚的に相いれない作品の中の挑戦、戦い、克服、諦観―如何してここまで表現するのか？それは執拗なまでに聞えグロテスクにさえ思いました。この触れ合いは思いがけ無く楽聖から人間ベートーヴェンへと親密な感情を齎しました。

是を契機に作品と作曲家の生涯に思いを馳せる様になり、いつか時間を十分に得たら逐一その重ね合わせを楽しみたいと思ひ今日に到りました。ところが今度は約一年半が経つても終える処が益々、納得できなく出口が見つからず徒勞の感じでした。所詮、凡人の自分が理解する事自体が無謀で、気づいた事は完了なんて出来る訳で無く継続が良いと思ひ始めた次第です。すると肩の荷が下りベートーヴェンに強い親しみと同時に愛着さえ感じるように成りました。やっと呪縛から解放され座右にベートーヴェンを置きながら今年はその作曲家「ハイドン」を選んてみようと思っています。

《見果てぬ初夢》



霜鳥 晃

あけましておめでとございます。お陰さまで、入会後一年二カ月、楽しく過ごさせて頂きました。例会にはほぼ毎回出席し、ソフトの達人、ハードの達人の発表に感じ入り、その後の昼食会では各人の「こだわり」に驚くばかり。また催事等の企画も多く楽しい限りでした。この様な全国的にも類のないオーディオ同好会が拙宅より車で十分程の所にあるとは奇跡のように思えます。

さて、私のオーディオ趣味は中学三年から始まる。以来集めたLPは約千枚、CDは四百枚、音楽VHSは百巻、エア・チェックやCDをダビングしたカセットテープは四百巻、MDは二百枚ばかりである。例会ではプロジェクトの導入により、音楽を映像と共に楽しむようになった。私のVHSは平成元年頃よりNHKの「芸術劇場」を中心に収録したもので貴重な映像が結構ある。

今年はこのVHSをDVDにダビングし、例会用に編集し直そうと思う。それに曲毎のタイトル仕訳、楽章毎のチャプター仕訳が必要となる。結構面倒だが、何時でもピンチヒッターに出られるよう準備しておきたい。しかし定例を含め年三回迄が限度だろう。例会的なVHSは五〇巻位ある。テープの劣化を考えると、週に一卷は編集したい。すると月四巻、一年で四八巻！なんと向こう十六年分の映像資料を作ってしまうことになる。いや、どうしよう！

《今年の課題》



介川 幸夫

幼稚園児時代前後に壁コンセントに髪留めのUタイプの針金を押し込んで目の前に火の玉が飛んだのをきっかけで還暦過ぎても未だに頭の中は感電しっぱなしの状態です。

姉二人がピアノと声楽に母親が賛美歌と来れば、クラシックはこの年齢になると黙って、旋律が流れば次のフレーズが口ずさむ状態が自然と成ってしまします。ましてやあなたも楽器をやりなさいと来れば、五線譜おたまじゃくしも判読しなくてはなりません。

ピアノの同じフレーズのところ、歌曲のイタリ語の繰り返しを聞かされる羽目になります。門前の小僧は何時しか、おたまじゃくしの中に巻き込まれていました。蛙に変貌する前に電気の面白さに感化されAMPを作ったのが運の尽き、未だに半田ごいで、遊んでおります。

電気のお社に入社し日本全国行かされ、見られないような仕事を体験し出張旅費は殆どすべてCDと電子部品に化けました。

これらのジャンクの山をどうするか？これからの三百六十五日を過ごす課題です。とりあえず還暦過ぎのおじさんの部品整理元年としましようか。

次のAMPの制作に真空管をセレクトしました。

